

築地場外市場など見学会

“築地市場”として親しまれてきた東京都中央卸売市場が、豊洲に11月移転予定です。

築地の魚河岸は、関東大震災で焼失した日本橋魚河岸が、築地の地に移転してきたことに始まります。

都内屈指の間屋街へと成長、その後、戦時中の統制によって一度は火が消えるものの、終戦とともに息を吹き返し、世界最大の水産物流通量を誇る「日本の台所」へと発展していったのです。

一方、食のプロや、一般客に親しまれてきた場外市場の店舗は商いを続け、10月には食の新スポット「築地魚河岸」がオープンして、それ以降も継続するそうです。

我々神奈川県民にとっても、至近な場所での「卸売市場」には、それ相当の愛着もあり、移転前の様子を眺め、築地周辺を幅広くウォーキングしつつ、「お好み食材」の探索、昼食は「月島のもんじゃ焼き」を楽しむなど、その道の通「木暮さん」が、去る5/12、下記ルートの下見をして、プランニングいたしました。
どうぞお気軽にご参加ください。

記

- 1、催行日：7月14日（木）・・・小雨決行
- 2、集合時間：AM8時30分
- 3、集合場所：JR大船駅南改札口（ルミネ側）の内・外
- 4、募集人員：特に決めていませんが20人程度を考えています
- 5、参加費：すべて実費で各人精算
- 6、解散：勝鬨橋資料館（かちどきばしりょうかん）前・・・時間は成り行き
- 7、服装&靴：軽装で歩きやすいシューズでお越しください
- 8、申し込み：世話人の堀河まで（TEL&FAX；0467-47-1041）
- 9、申し込み期限：7月5日（火）までに

★ルート概略

大船駅→有楽町駅→数寄屋橋→銀座三越→歌舞伎座→築地場外市場（試食、買物）→築地本願寺→佃→佃煮屋→住吉神社→石川島人足寄場跡→月島（もんじゃ焼き屋で昼食）→勝鬨橋→勝鬨橋資料館（火、木、金のみオープン）。館を出たところで解散、歩き、またはバスで有楽町駅へ→参加者の最寄り駅へ